

- ①SLATSのJAXA計画上の位置付けは?
- ②超低高度衛星のデータポリシは?
- ③衛星やミッション機器の開発着手には何が必要か?

①SLATSのJAXAの計画上の位置付けは？

JAXAの中期計画※(平成27年3月31日変更認可)で以下のように追記されました。

※独立行政法人宇宙航空研究開発機構の中期目標を達成するための計画(中期計画)
平成25年4月1日～平成30年3月31日

I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1. 宇宙安全保障の確保

(2) 衛星リモートセンシング

我が国の安全保障体制の強化のため、衛星リモートセンシングの利活用に係る政府の検討を支援するとともに、その検討結果を踏まえ、リモートセンシング衛星の開発等を行う。

具体的には、データ中継技術衛星(DRTS)、陸域観測技術衛星2号(ALOS-2)、**超低高度衛星技術試験機(SLATS)**、先進光学衛星に係る研究開発・運用を行うとともに、先進レーダ衛星、先進光学衛星の後継機をはじめとする今後必要となる衛星のための要素技術の研究開発等を行い、(中略)。

上記の衛星及びこれまでに運用した衛星により得られたデータについては、国内外の防災機関等のユーザへ提供する等その有効活用を図る。また、衛星データの利用拡大について、官民連携への取組みと衛星運用とを統合的に行うことにより効率化を図るとともに、衛星データ利用技術の研究開発や実証を行う。

②超低高度衛星のデータポリシーは？

- **SLATSのデータポリシー**

SLATSで取得したデータ(軌道運用データ、大気密度データ、材料劣化データ、撮像データ等)については、検証・評価のために、JAXAとの間で共同研究などの契約や協定を締結した場合には、必要に応じてデータを提供します(データそのものを外部公開することはできません)。

- **将来機のデータポリシー**

データポリシーは、ALOS-2等のJAXA衛星と同様になります。

サイエンスチームが提案・研究開発したミッション機器のデータは、当該サイエンスチームで優先的に使えることになると考えます。

③衛星やミッション機器の開発着手には何が必要か？

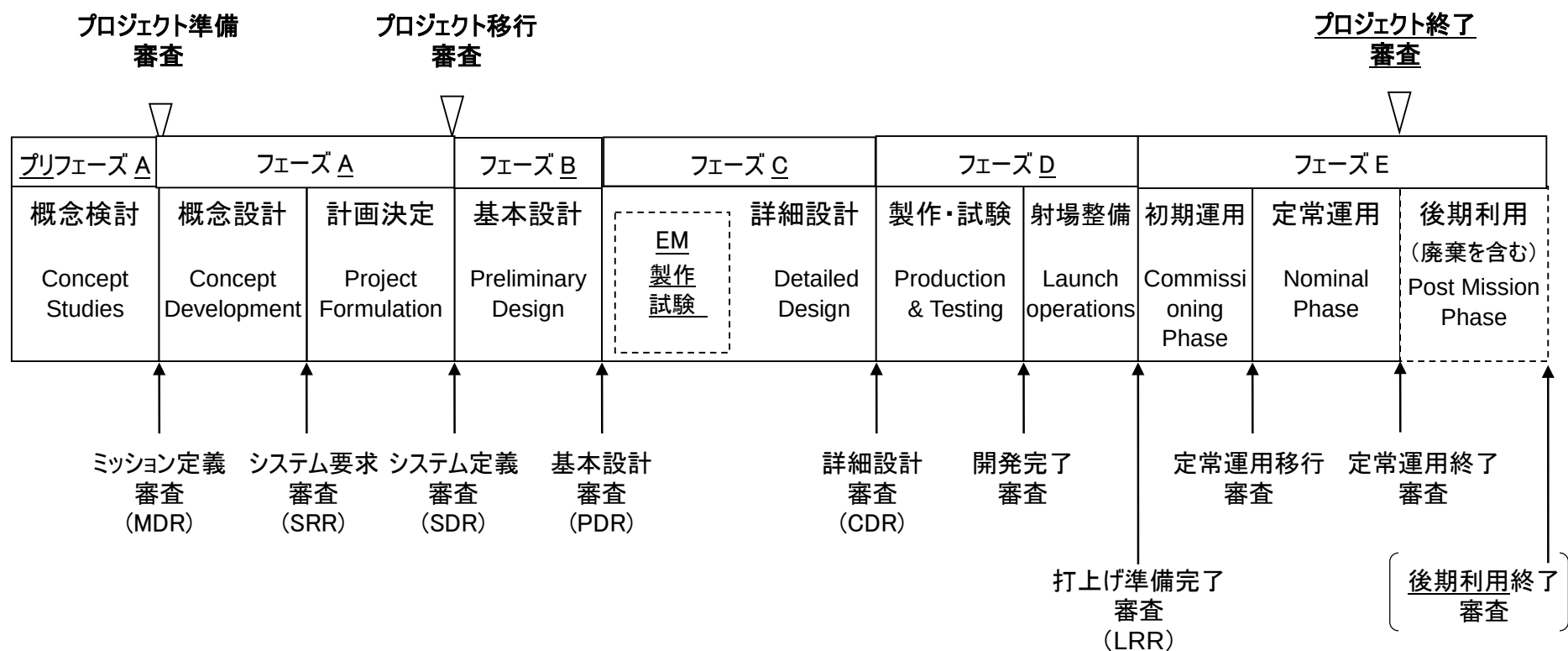
一般論として、衛星開発は社会的課題等の解決に貢献することが認められ、費用対効果や機能・性能・スケジュール等の実現性が認められた後に研究・開発がスタートします。

搭載ミッション機器については、当該衛星のミッションとして選定された場合は、衛星の研究開発着手と同時にスタートします。

また、開発が認められた衛星において、当該衛星のリソースの範囲で搭載でき、低コストの小型ミッション機器については、コミュニティの中での研究等を踏まえて、重要度・貢献度等に応じて優先順位付けされ、搭載機器として選定される運びになると考えます。

(参考)フェーズと審査の関係

【フェーズと審査の関係(衛星プロジェクトの例)】



(注)計画変更については、必要に応じてプロジェクト計画変更審査を実施する。

新規ミッション提案

判断に迷う場合は、
経企部・CE室と調整

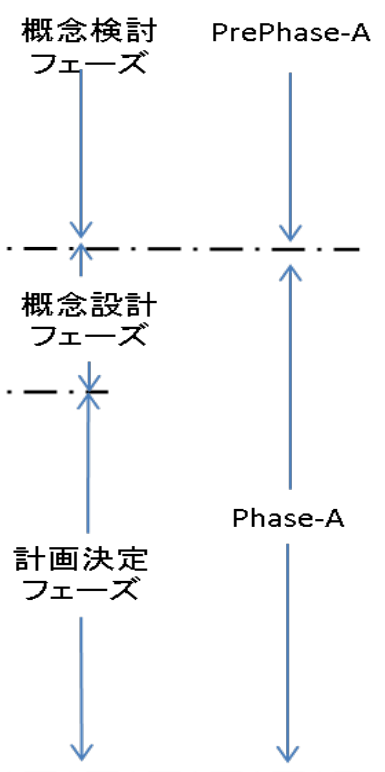
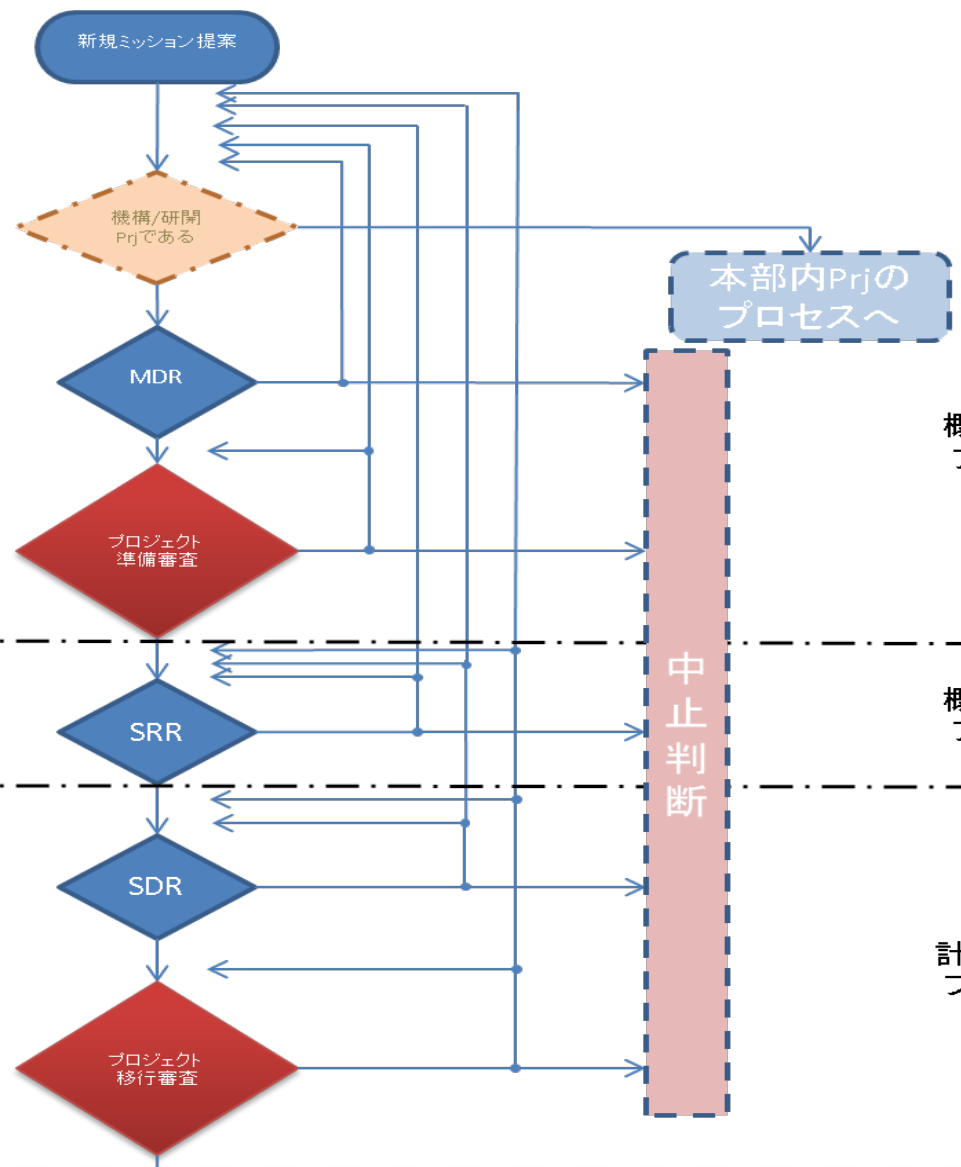
MDR

プロジェクト準備審査

SRR

SDR

プロジェクト移行審査



基本設計フェーズ (Phase-B) へ